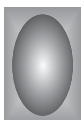


INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



「三宅賞」および「奨励賞」候補者を募集

2003年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者を募集します。

学会としてのご推薦または、個人会員からのご推薦のいずれからでもお受けします。

下記の要領でご応募下さい。応募用紙などは学会事務局宛て別途送付してあります。

1. 三宅賞

対象：

地球化学に顕著な業績をおさめた研究者

表彰内容：

賞状、副賞として賞金30万円、毎年1件
(1名)

2. 奨励賞

対象：

推薦締切日に35才以下で、地球化学の進歩に優れた業績を挙げ、将来の発展が期待される研究者

表彰内容：1件10万円、毎年1件(1名)

3. 応募方法：

所定の用紙に略歴、研究業績、推薦理由などを記入し、下記のあて先へご送付下さい。

4. 締切日：2003年8月31日

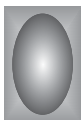
5. 応募先：地球化学研究協会

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

電話 03-3330-2455 (FAX 兼用)

なお、応募用紙は、t-sagi@ka5.koalanet.ne.jp
(鷲猛)宛てご請求頂ければ送付いたします。



藤原セミナー募集要項—平成16年度開催—

財団法人 藤原科学財団

趣 旨

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目的として、「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け、選考の結果採択を決定したのについて、セミナー開催に必要な経費を援助いたします。藤原セミナーの選考委員は次の通りです。

杉村 隆 (委員長)、西島和彦、井口洋夫、

西村 暹、末松安晴 (敬称略、順不同)

又、必要に応じて専門委員を委嘱することがあります。

記

1. 応募資格

わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

2. 対象分野

自然科学の全分野

3. セミナーの要件

対象となるセミナーは、平成16年度(平成16年7月1日～同17年3月31日)に開催するもので、次の各要件を満たしていること。

(1) セミナーは、学問的に水準の高いものとし、

そのテーマはなるべく基礎的なもので、関連分野の発展の契機となるようなものであること。

(2) 参加者が、セミナー開催期間中起居を共にすることを原則とし、計画された講演・討論のほか、個人的な討論など自由な雰囲気での学問的な交流と人間的接触を深め、永続する協力の基盤を作るようなものであること。

(3) 参加者は50人程度までとし、外国人研究者が相当数(参加者の5分の1以上)含まれるものであること。なお、国内外の優れた研究実績を有する若い専門研究者の参加を奨励する。

(4) セミナーの開催地は、日本国内であること。

(5) 開催期間は2～4日以内とする。

(6) セミナーの開催に直接必要な経費が、1,200万円以内のものであること。

(7) 二国間会議、定期的に行われる国際会議、準備会は対象とならない。

4. 採択予定件数

1件

5. 当財団が支給する経費

セミナー開催に直接必要な経費として当財団が認めたもので、その費目は次のとおりとする。

(1) 会議準備費

会議準備費は、セミナー開催の準備のために必要な内国旅費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、賃金、消耗品費、雑役務費等とする。

(2) 国外参加者旅費

国外参加者旅費は、航空賃、滞在費及び必要な場合は交通費とし、次の基準により援助することができる。

(ア) セミナー参加を特に要請する者については、旅費全額

(イ) その他の参加者のうち必要な者については、旅費の一部

(3) 国内参加者旅費

国内参加者旅費は、交通費(出発地から開催地までの往復鉄道賃等)、日当及び宿泊料とし、次の基準により援助することができる。

(ア) セミナー参加を特に要請する者については、旅費全額

(イ) その他の参加者のうち必要な者については、

旅費の一部

(4) 本会合経費

本会合経費は、セミナー開催期間中に必要な組織責任者等旅費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、レセプション経費、賃金、消耗品費、雑役務費等とする。

6. 申請の方法

セミナー開催希望者は、「藤原セミナー開催申請書」(1通)を、所属機関長を經由して当財団に提出すること。尚、著名な参加予定者については、セミナーのテーマに関する主要論文(5名以内1人につき1篇、コピーで可)を添付のこと。

7. 申請受付期間

平成15年7月1日～同年7月31日(必着)

8. 選考及び通知

当財団の藤原セミナー委員会で審査のうえ、その結果を平成15年10月中旬に、申請者ならびに機関長に通知する。

9. 組織責任者とその義務

申請が採択された場合は、申請者が組織責任者となる。組織責任者は、セミナーを企画し、運営し、次の事項を処理するとともに当財団との連絡に当たる。

(1) 実施計画書の提出

(2) 実施報告書及び収支決算報告書の提出(セミナー終了後2カ月以内)

(3) 準備から終了に至るセミナー開催に関するすべての事項

備 考

セミナーが北海道で開催される場合には、下記について会議場、宿泊など、当財団で便宜をはかることができます。

苫小牧市……グランドホテルニュー王子

旭川市……旭川グランドホテル

申請書提出先・連絡先

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

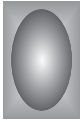
(王子不動産銀座ビル)

財団法人 藤原科学財団

TEL (03) 3561-7736 FAX (03) 3561-7860

藤原科学財団ホームページ

<http://www.fujizai.or.jp>



第15回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

日本体力医学会では、体力科学に関する理解を深め運動指導ができるようスポーツ医学研修会を開催してきました。平成15年度も同様の研修会を開催いたします。

今回の研修会は前回より新しくなりましたカリキュラムに基づき、基礎コースと応用コースを設け、それぞれ2日間、講義と実習を行います。講義をできるだけ減らし、救急救命法、健常者や生活習慣病をもっている人に対する運動処方、筋力トレーニングとテーピングなどの実習を主に行います。この研修会で対象として扱うのはアスリートではありませんのでご注意ください。また、新しい研修会では講師が講義資料を用意し、それに準じて講義が行われますが、13回研修会までのテキスト（スポーツ医学—基礎と臨床—；朝倉書店）をお持ちの方はそれもお持ちください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続をとると日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただきます。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの変更に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

これまで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を既に受講され、まだ未取得単位がある方は、新しいカリキュラムとの互換性は次のようになります。旧カリキュラムでコースII（運動処方・運動療法コース）、コースIII（スポーツ外傷・障害コース）を未取得の方は新カリキュラムの応用コースを、旧カリキュラムのコースI（基礎コース）を未取得の方は新カリキュラムの基礎コースをお受けください。それらを受講した上で、修了試験を受けることができます。

多数の方のご参加をお願い致します。尚、実習

を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご理解ください。

平成15年1月

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

栗原 敏、宮村実晴、吉岡利忠、佐藤祐造、
本間生夫、能勢 博、河野照茂、鈴木政登、
武者春樹、久野譜也

1. 会 場

会場は東京慈恵会医科大学各教室・スポーツクリニックフィットネス室・臨床検査医学講座です。講義は各教室で、実習はフィットネス室および臨床検査医学第1研究室で行います。

2. 日時および研修カリキュラム

(I) 基礎コース

このコースでは、スポーツ医学を理解する上で必須な生理学、生化学および運動処方の基礎などを中心に学びます。例えば、筋肉収縮の仕組み、それを命令する神経系の働き、呼吸・循環機能、水・電解質およびエネルギー代謝とホルモンの働き、および運動処方作成の基礎などがこのコースの主なテーマです。ここで学んだことを基礎として、(II) 応用コースへと進みます。

平成15年

7月4日（金）

9：00～10：30	運動と筋
10：40～12：10	運動と神経
13：10～14：40	運動と呼吸
14：50～16：20	運動と循環
16：30～18：00	運動と水・電解質代謝およびエネルギー代謝
18：00～	懇親会（会費3000円、参加自由）

7月5日（土）

9：00～10：30	運動処方の基礎
10：40～12：10	生活習慣病の運動処方I

13：10～17：00 救急救命実習（人体模型を用いた実習）

(II) 応用コース

このコースでは、生活習慣病の運動処方Iに続き運動処方IIにおいて循環器や運動器疾患の運動処方の実際を学びます。さらに、トレッドミルや自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験およびそのデータに基づいた運動処方の作成、テーピングおよび筋力トレーニングなど実習を主体に行います。

平成15年

8月29日（金）

9：00～10：30 高血圧症およびその他の循環器疾患

10：40～12：10 運動器疾患の運動処方

13：10～17：00 運動処方実習（トレッドミルまたは自転車エルゴを用いた運動負荷試験および心電図記録と呼気ガス分析を行う。）

8月30日（土）

9：00～12：00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得たデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる。）

13：00～17：00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成15年8月31日（日）10：00～12：00に東京慈恵会医科大学で行います。

4. テキスト

担当講師が講義資料を用意し、それに準じて講義が行われます。

5. 受講料

受講料は（I）基礎コース、（II）応用コースおよび修了試験の全てを受講した場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、日本体力医学会“健康科学アドバイザー”の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPでそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。なお、スポーツプログラマー1、2種、および日本体育協会加盟各種スポーツ団体（但し、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、水泳、空手道、剣道の資格者については対象外）の指導者更新認定事業として申請中です。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨、日本学会事務センターまでご連絡下さい（下記参照）。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内

させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんのであらかじめご了承ください。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
財団法人 日本学会事務センター内
日本体力医学会スポーツ医学研修会係
電話：03-5814-5800 FAX：03-5814-5823

第15回 日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。(該当する□にレ印をつけてください。)

第1回 基礎コース

第2回 応用コース

試 験

氏 名

連絡先 〒 -

TEL

FAX



第14回日本微量元素学会のお知らせ

■会長：高木洋治（大阪大学医学部保健学科 母性・小児看護学講座）

■会期：平成15年7月24日（木）、25日（金）

■会場：大阪大学コンベンションセンター

〒565-0871 吹田市山田丘1-1

第1会場：MOホール

第2会場：会議室2

第3会場：会議室3

第4会場：会議室4（展示会場）

■会場への交通の案内

＜新大阪駅から＞地下鉄御堂筋線千里中央駅（終点）→阪急バス「阪大本部前行」→阪大本部前（終点）下車（所要時間約40分）

＜大阪国際空港（伊丹）から＞大阪モノレール阪大病院前駅（所要時間約30分）

■プログラム要旨■

〔特別講演〕

Prasad AS: Professor, Dept of Medicine, Wayne State University School of Medicine

〔シンポジウム1〕（指定）

「放射光による微量元素分析と生命科学・医学への応用」

座長：井出 亜里 京都大学国際融合創造センター創造部門バイオ電子システム分野教授

吉田 宗平 関西鍼灸短期大学・神経病研究センター教授

〔シンポジウム2〕（指定）

「骨髄由来細胞の機能調節と微量元素」

座長：伊藤 徳夫 大阪大学大学院薬学研究科生体機能解析学講座毒性学分野講師

山口 正義 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科教授

〔会長講演〕

「外科栄養における微量元素」

〔トピックス〕（いずれも公募）

①遺伝子情報と微量元素 ②脳・神経疾患と微量元素 ③消化器疾患と微量元素 ④免疫機能と微量元素 ⑤環境汚染と微量元素

〔その他微量元素に関する一般演題〕（口演・ポスター）